



徳成寺 寺じから版 第185号 2022年5月



いつもありがとうございます。住職の大山です。

ウクライナへの侵攻が始まって2か月。一方、国際宇宙ステーション

では、ロシアやアメリカ・ヨーロッパの宇宙飛行士たちが共同して、今も

ミッションを遂行しているそうです。宇宙飛行士曰く「地球ではいろいろ

あるようだが、宇宙では国の違いを超えて協力している」と。そう！宇宙空間で

ケンカしても仕方ないのです。これと同じことを地上で起こそうとしているのが、

阿弥陀様がお浄土をお建てになった理由です。個人の属性が何であれ、あらゆる違いを

乗り越えてお互いに協力し出遇わせるぞとの悲願です。その悲願の前には、個人の

属性だけでなく、三毒と呼ばれる貪り・憎しみ・無明の煩惱すら妨げになり

得ません。宇宙飛行士が言ったように、地球上のいい事も悪い事も何もかも

超えて、お互いが出遇える時間・空間がお浄土です。戦争が起きてみると

お浄土がなくてはならないと頷かれます。

発行責任者

住職

大山健児

坊守

大山ひめ



大山超世の耳を澄ませば

お世話になっております。副住職です。先月は法話の練習会に参加しました。私は2016年の津久井やまゆり園の事件について触れた法話を準備しました。凄惨な事件であり、とても慎重に扱わないといけない話題です。聞いてくれる仲間内でしたが、冒頭で「センシティブな話なので不快に感じるかもしれない」という前置きをして話したところ、法話が終わって感想を聞くと「センシティブの意味が分からなかった」と言われました。

人権問題のような取り扱いに慎重さが必要な事柄を最近では「センシティブ」と表現する事が多いです。配慮のつもりが裏目に出てしまい、何かを伝える際には便利な表現に逃げることなく、伝えるための努力を尽くさないといけないと感じました。写真はスターバックスのフラペチーノです。少し落ち込んでいましたが、甘いものを摂取すると元気になるれます。連休明けで気分が上がらない時は試してみてください。

